

# 株式会社ジェイコム湘南・神奈川 西湘局（小田原エリア）

## 2021年度 放送番組審議会 議事録

2021年度の放送番組審議会は、2022年3月9日（水）にジェイコム湘南・神奈川 西湘局で開催された。

<放送番組審議会委員> （五十音順）

—ご出席—

尾上 昭次 様                    加藤 裕之 様                    瀬戸 淳子 様  
山岡 弘 様                    芳澤 一夫 様

事業者側から局の現況、及びJ:COMチャンネル(11ch)とJ:COMテレビ(10ch)について報告があった。

【質疑応答・意見交換】（芳澤会長による進行）

**委員** きめ細かく放送を行っていると感じている。オンラインや学校のテレビでレッスン動画を視聴できると良いのではないかと。

**委員** 学校に対して、契約などの営業活動は行っているのか。NHK（Eテレ）の番組をみんなで見るといっても有効と考える。

**事業者** 電波障害対策エリア内の学校ではコミュニティチャンネルを視聴できる。未導入の小・中学校に新たに導入することも良いと思う。特に災害時の情報を学校で確認できることは有用であると思う。東京都中野区の学校と和歌山県の漁港をインターネットでつないで校外学習を実施した事例がある。また別案件であるが、小田原市 YouTube「おだわらっ子チャンネル」での動画作成など協力し、先生が作った学習動画などの取材及び放送を実施した。

**委員** 地域話題を取り上げていただきありがたい。今後とも取材をしていただきたい。「ふくあじ」でエリアのお店をたくさん取り上げて欲しい。

**委員** 番組が定番化しないように、季節毎ではなく、SDGsなどの社会的課題についても放送されると良い。毎年番組の色が変わっても良いと思う。人生百年時代なので、視聴者の興味があるものなど、番組を通じて様々な内容が放送されると良い。マンネリとは言わないが、定番化している番組が多いイメージがある。見逃し番組を見ることはできないのか。

**事業者** アーカイブ放送は全部の番組では実施できないが、スマホアプリでカバーできている。ニュースは一週間分アーカイブとして保存されている。特番も配信期間を設定して視聴可能になっている。

**委員** 有事の際の細かい情報を発信して欲しい。地域住民、学校の立場として台風、地震、近隣での大きな事件の細かい情報が欲しい。それを元に子どもたちをどのように誘

導するか判断をしたい。現在は、教育委員会からの情報を基としているが、アプリで情報を得られると学校として判断根拠になる。学校はコロナ禍で地域の方や保護者に足を運んでももらえない状況にある。学校便りを映像化できるといい。こゆるぎ通信（小田原市の記者発表資料）などを確認して、こまめに取材にきていただきたい。歴史、自然環境などの小田原市の内容を教材化して欲しいという話も出ているが、日ごろの業務もあり実現が難しく、動画の制作などを J:COM にお願いできると良い。以前、石垣山一夜城の歴史の番組を NHK で見て、非常に勉強になった。

**委員** J:COM に期待することは情報を緻密に届ける事である。また、災害情報の捉え方を改めて考えて欲しい。コロナ禍における取材の大変さをお伺いしたい。

**事業者** 本来ならば対面で状況を聞きたいが、リモート取材に切り替えている。イベント自体が中止になっているので、特番生中継が少なくなっている。ポジティブに捉えれば、新しい取材の手法が出てきて「効率化」が進んでいる。今後、ゼロコロナにはならない中で、with コロナでどのようにやっていくか、対面とリモートの両面で取材対応を行うのが主流になっていくと思う。

**委員** 災害時の取材方法が整っていることに安心した。ビデオライブラリー化や明治・大正・昭和の歴史を教材にしてはどうか。番組「歴史を歩く」を参考にしてはどうか。教材となり、アーカイブ化にふさわしい内容と感じる

**事業者** 2020 年に「おだわらっ子チャンネル」にアップする動画制作をさせていただいた。教育委員会からの依頼でニュースの白素材を活用し、動画を編集・納品した。

**委員** 「広報小田原」を作っているが、なかなか市民に届けられていないと感じている。なにか良い発信方法のアイデアをいただきたい。

**委員** 高齢者には紙の情報がありがたいが、その一方で多くの人、特に 10・20 代はスマホ等を活用しているので、紙とスマホの両軸での情報発信が大切と思う。

**委員** 情報の発信・受信の両視点からすると、L 字情報は出して欲しい。コロナは変化をするチャンスだと思う。

**事業者** 新しくオンライン診察サービスを開始した。小田原駅やミナカ小田原のサインページのお披露目の式典に取材が入る予定である。今後も行政情報発信の場を増やしていきたい。

**委員** 地域情報アプリ「ど・ろーかる」のネーミングについて、ローカルの番組が全局ネットになるためにも、拡がりのあるネーミングが良いと思う。もう少し拡がりのある、わかりやすい名称にしてはどうか。

**事業者** ご意見ありがとうございます。

**事業者** 委員の皆さまからのご意見、活発な審議ありがとうございました。今後の番組の制作に役立てていきたいと思っております。

以上